百圓未滿	同	二十六錢
百圓未滿	同	三十二錢
四百圓未滿	同	三十八錢
千七百圓未滿	同	四十四錢
二千圓未滿	同	五十錢
千五百圓未滿	同	六十錢
上三千圓未滿	同	七十錢
千五百圓未滿	同	八十錢
上四千圓未滿	同	九十錢
	同	一圓

ストキハ其附込見積金高ニ隨ヒ下ニ用スヘシ

	印税	四錢

諸證書税率ニ據ルヘシ

一質物（預リ書小札）

圓未滿	印税	一錢
	同	二錢

ストキハ其附込見積金高ニ隨ヒ下ニ用スベシ

	印税	二錢
	同	四錢

一荷爲替手形

一約束手形

	印税	一錢
圓未滿	同	二錢
圓未滿	同	四錢
百圓未滿	同	八錢
圓未滿	同	十五錢
圓未滿	同	二十五錢
	同	五十錢

（未完）

テ證券印税規則改正候ニ付テハ印紙價左ノ通リ相定ム

舊取交貼用スルコトヲ得

五厘	橙黄色	同壹錢
貳錢	萌黄色	同五錢
拾錢	青色	同廿五錢
五拾錢	赤色	同壹圓
壹錢	桔梗色	同貳錢
四錢	橙黄色	同八錢
拾五錢	淡紅色	同廿五錢
五拾錢	淡黄色	同壹圓

太政大臣三條實美
大藏卿　松方正義

叙任

日	山口　秀興	
日	田島　吉次	
	小林　泰長	

法朗西共和國東洋學校教官
章　レオン、ド、ロニー
仝　陸軍大尉
章　テウチー
法朗西共和國巴里里昂鐵道長
章　アルフレッド、レキユウル
日　重兵少尉正八位勳六等　植田　登
兵少尉正八位　新庄　憲章

仝　仝　仝　水野　勝昌
仝　仝　仝　原　次三郎
仝　仝　仝　安田貞二郎

時事新報

現行日本電信法ノ改正ヲ望ム

横濱ノ「ガゼット」新聞ハ我々ニ一吉報ヲ與ヘテ曰ク日本政府ハ電信賃錢法ヲ改正シ全國一價法ト爲スノ企アリ其發令實施ハ來ル七月頃ナルベシト我輩ハ此報道ノ虛實如何ヲ知ラズト雖モ全國一價電信賃ト聞テ先ヅ喜ビヲ表スルモノナリ仮令我政府ニ於テ當時「ガゼット」新聞ガ報道スル如キ企ナシトスルモ我輩ハ此時ヲ機會トシテ再ビ電信賃錢ノ全國一價法ヲ勸告スルノ榮ヲ得タルヲ喜ブナリ

現在日本ノ電信法ノ如ク里程ノ長短ニ由テ其賃錢ヲ增減スルノ理由ヲ按スルニ近隣ノ地ヘ電線ヲ架設シ又コレヲ維持スルノ費用ハ甚タ少ナクシテ遠隔ノ地ヘ架設シ又コレヲ維持スルノ費用ハ甚タ大ナルガ故ニ此電線ヲ利用スル者ニ課スルノ賃錢モ其遠近ニ隨テ增減スルモノナリト云フニ在ラン誠ニ簡單公平ナル理由ナリト雖モ此公平ノ賃錢法ハ主人タル電信局ニモ客タル賴信人ニモ小公平ノタメニ大便利ヲ犧牲ニ供スルノ實アリテ利害相償ハズ就中電信局ニ取リテハ其不便不利殊ニ甚シキガ故ニ電信料ハ全國不二價トシテ路ノ遠近ヲ問ハザルハ目下文明世界ノ通法ニシテコレニ向テ敢テ異議ヲ唱ル者ナシ蓋シ電信ノ全國一價法ハ郵便ノ先例ニ則トリタルモノニシテ郵便ノ全國一價法ハ英國ノローランド、ヒル氏ノ創意發明ニ成リ千八百四十年（我天保十一年）以來英國ニ於テコレヲ實行シ追テ文明諸國ノ採用スル所ト爲リタルモノナリ郵便信書ニ於テ路ノ遠近ニ由テ其賃錢ヲ異テスルノ不便ハ先ヅ其信書ノ掛目ヲ量リタル上ニテ其屆ケ先キヲ見其里程ノ何程ナルヤヲ承知シテコレヲ賃錢表ニ引合セ相當ノ賃錢ヲ収メントスル其手數ノ夥シキニ在ルナリ電信ニ於ケルモ亦此理ニ外ナラズ今日本國内ニ二百幾十ノ電信局アリ此内ノ一局ヨリ他ノ一局ヘ送信セントスルニハ先ヅ電文ノ字數ヲ知リ次ニ屆ケ先キノ局名ヲ知リ其局ト我局トノ間ニ現行スル賃錢ノ定則ヲ知リテ始メテ其通信料ヲ収メ其電信ヲ發送スルヿヲ得ルナリ幸ニシテ電信局員ノ記臆力天下無双ノモノニシテ二百餘局ニ關スル各階級ノ賃錢表ヲ諳記シ居ルヿナランニハ格別事務ノ澁滯モナカルヘケレモ不幸ニシテ局員ノ諳記力十全ナラザルカ或ハ新來轉入ノ人ニテ或ル一局ノ賃錢表ハ諳記シ居ルモ未タ此局ノ賃錢表ヲ諳記シ居ラサル等ノ事情アリテ賴信ヲ受付ル度毎ニ一々表ニ引合スル樣ノ事モアランニハ僻陬村落ノ閑散分局ハイザ知ラズ都會繁劇ノ電信局ニ在リテハ其混雜不便實ニ言フベカラザルモノアランコレヲ全國一價ノ簡單法ニ從テ發信スルモノニ比スルニ主客共ニ其便否利害ノ甚タ相懸隔スルヿ多辨ヲ要セザルナリ

故ニ我輩ハ今ノ繁雜不便ナル日本ノ電信法ヲ改メテ世界普通ノ簡便一價法ト爲スヿヲ希望スルナリト雖モ此一價法ニ改ムルニ臨ミテ又大ニ注意ヲ要スベキヿアリ通信料ノ格價即チ是ナリ當時我電信局ノ賃錢表ヲ見ルニ最近ノ距離即チ東京大坂等一都府内ノ通信料ハ和文一音信（仮名二十個）ニ付住所姓名ノ賃電信屆ケ賃ヲ合シテ金十一錢五厘歐文一音信（廿語）ニ付十六錢五厘ナリ其距離漸ク遠クシテ北海道ト九州トノ間ニ往復スルモノニ至レバ和文一音信料凡九十五錢歐文同四圓七十五錢ニモ上ルナリ電信局ノ年報等ニ據リ全國平均ノ通信料ヲ算スルニ和文一音信ニ付三十三錢歐文同一圓五十八錢位ニ相當スルモノヽ如ク然リ左スレバ今全國一價法ト改ムルニハ和文ハ三十錢歐文ハ一圓五十錢ヲ以テ一音信ノ賃錢ト定メントスルカ我輩ハ斷シテ其不廉ニ失スルヲ信スルナリ我輩今左ニ英國ノ電信通信料ヲ揭ケテ比較スル所ヲ知ラシムヘシ

通常電信一音信（二十語）ニ付至英國ヲ通シ通信料一「シルリング」即チ我二十五錢ナリ此外ニ住所姓名賃屆ケ賃ナド云フモノナシ

新聞原稿電信一音信（七十五語乃至百語）ニ付全英國ヲ通シ通信料一「シルリング」

但シ新聞原稿電信ハ晝間通信即チ午前九時ヨリ午後六時マデノ間ニ發送スル分ハ七十五語ヲ以テ一音信トシ夜間通信即チ午後六時ヨリ翌日午前九時マデノ間ニ發送スル分ハ百語ヲ以テ一音信トス

故ニ今日本ノ全國一價電信料ヲシテ英國ト同一ノモノニ爲サントスルニ於テハ和文一音信（假名二十個）ニ付五錢歐文（二十語）同二十五錢ト定ムルヲ以テ相當トスベシ即チ現在ノ全國平均通信料ノ凡六分ノ一ニ當ルナリ然レモ又現在ノ我郵便法ノ如ク日本ノ通信税ハ英國等ノ例ニ比シテ一倍ノ高價ヲ維持シテ未タ改正セザル折柄ナルユエ電信料モ亦暫ラク英國ニ一倍ノ高價ニ定メ置キテ次ノ改正期ヲ待タントスルノ決心ナランニハ和文仮名二十個ニ付十錢歐文二十語ニ付五十錢ト定ムルヲ以テ相當トスベシ

電信ハ全國一價ニ改メ其賃錢ハ仮名二十個ニ付五錢乃至十錢位ノ相當ナル價ニ定メンヿヲ希望スルト同時ニ我輩又新聞原稿電信法ノ新設アランヿヲ希望セザルヲ得ズ我輩ガ自カラ新聞事業ニ從事シナガラ新聞原稿ノ廉價通信法ヲ設ケヨト云フハ聊カ自己ノ勝手論タルノ嫌ナキニアラズト雖モ新聞ハ文明ノ推進器ニシテ社會ノ必要具ナリト定マリアル以上ハ新聞事業ノ發達ヲ助クルハ一國ノ文明繁榮ヲ助クルモノニシテ一個人ノ利害ニ私スルモノニアラズ故ニ苟クモ文明ノ慕フベキヲ知ル程ノ人ナランニハ必ズ今ノ日本ニ新聞原稿電信法ヲ設ルノ必要ヲ許スナルベシ以上略記スル如ク現行ノ日本電信法ニ關スル各種ノ改正ハ國ノタメ我輩ガ切ニ希望シテ止マザル所ナリ

電報

○四月廿八日龍動發　佛國ハ當時英國の提出せる埃及國財政裁定の會議に關して故障を言立て且つ英國に向て埃及全体の疑問に關し論辨を需めたり